



# 令和4年度 大浦小 学力向上プラン



## I 各種学力調査結果を踏まえた「短期プラン」

### 1 今年度の傾向と課題、全校で揃えて実践する取組

今年度の傾向と課題	全校での共通実践項目
<p>〇6年生において、算数科で平均正答率は全国・県の平均を上回り、国語科では全国の平均を下回っているものの、県の平均は上回っている。</p> <p>〇領域や観点で見ると国語科は「書くこと」、算数科は「思考力・判断力・表現力」に課題がある。</p>	<p>国語：条件や理由を意識して書く力を付けるために</p> <p>◇授業の中に意図的に「書く活動」を位置付ける。            (例) ㊸語彙力向上を意識した書く活動            ㊹文の構成などを意識した書く活動            ㊺条件や理由を意識した書く活動</p> <p>算数：自分の考えをもち表現する力を付けるために</p> <p>◇授業の中に意図的に「自分の考えをもつ時間」を位置付ける。            (例) 〇自力解決の時間確保            〇ペアやグループでの意見交流の時間確保</p>

### 2 2学期以降、各学年で特に重点化する学習内容や取組

重点化する学習内容や取組	
1年生	国 「気持ちや理由を書く活動」の実践。
	算 「算数的活動の時間」を確保し、考えの表し方を指導する。
2年生	国 経験したことや自分の考えを、順序に気を付けて表現する力を養う授業実践。
	算 自分の考えを言葉や図などで表現する力の育成。「九九」の徹底。
3年生	国 文の組み立てを意識して正しく読んだり、書いたりする力を養う授業実践。
	算 問題解決に向けて追究し、伝え合うことを意識した授業実践。算数タイムでは、eライブラリの活用を通して、学習内容の定着を図る。
4年生	国 言葉や漢字の学習の工夫と徹底。書かれている内容を正確に読み、目的に応じて書くことを意識した授業実践。
	算 算数タイムでは、学力調査の結果を受け、苦手な箇所を中心に練習を行う。授業の終末には、練習問題を位置付け、学習内容の定着を図る授業実践。
5年生	国 「自分の考えやその理由を明確にして書き、伝え合う活動」を位置付けた授業実践。
	算 算数タイムでは、苦手な箇所を繰り返し練習することで理解を確実にする。授業では、「自分の考えをもち、互いの考えを伝え合う活動」を通して、自分の考えを表現する力を表現する力を付ける授業実践。
6年生	国 「目的や条件に合わせて、自分の意見や根拠を明確にして書く」活動を位置付けた授業実践。
	算 算数タイムでは、苦手な箇所を繰り返し練習することで理解を確実にする。授業終末や単元終末では、練習問題を解く時間を確保し、学習内容の定着を確認する。算数への学習意欲を高める授業実践。

### 3 全校としての成果指標

1年後の各種学力調査において、「条件や理由を意識して書く（条件作文、理由等を書く）」、「思考・判断・表現」の平均正答率等を「**全国（県）と同等程度（95%以上の達成）**」とする。

## II 学習・生活状況等の改善を含めた「中期プラン」



### 1 全国学力・学習状況調査結果による本校児童の学習や生活状況の特徴

特に優れているところ（更に伸ばしたいこと）	全国平均との差（%）	大浦小の割合（%）
学校に行くのは楽しい。	+4.8%	90.2%
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。	+17.3%	52.8%
読書は好きですか	+16.4%	58.3%
PC・タブレットなどのICT機器を使用している。	+27.5%	54.2%

課題（改善したいこと）	全国平均との差（%）	大浦小の割合（%）
自分には、よいところがあると思いますか。	-7.5%	31.9%
家で自分で計画を立てて勉強していますか。	-5.3%	22.2%
自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っているか。	-10.2%	18.1%

### 2 「（長崎市校長会作成）学力向上を目指す6つの視点」を基にした各種取組の継続

